

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成29年度 第1回伊達市社会教育委員会議		
議 題	◎議長・副議長の選出 ◎平成29年度教育行政執行方針についての説明 ◎平成29年度社会教育事業計画についての報告		
開催日時	平成29年5月16日（火）18時30分から19時50分まで		
場 所	伊達市役所第2庁舎 2階会議室1		
出席者	社会教育委員10名、教育委員会職員8名：出席者計18名 ※欠席委員2名		
	所管部課名	教育部生涯学習課	
公開非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	—
【会議概要】 1. 開 会（生涯学習課長） ◆先月末（4月30日）で社会教育委員の任期が満了となり、4月の定例教育委員会で皆様への社会教育委員の委嘱の承認を得ていることの報告。 ◆委嘱状の交付は、机上配付としたことについて説明。			
2. 開会あいさつ（教育長） ◆社会教育委員受任へのお礼と今後の協力依頼。 ◆子ども達・若い人たちが社会に参加、できれば参画していくための力を育成することが求められており、学校教育で進めて行ければと考えている。 ◆伊達高校では、市職員を招き「伊達市の未来」ということでの授業活動があり、秋には研究成果を発表できるものにまとめることになっているが、小中学校でもそのような取り組みをどんどんやっていかなければと思っている。 ◆子ども達が、自分たちで社会を作り上げていくイメージを持って、学校教育の場で育て、できれば地元に残っていただき地元を支える人材になってほしい。 ◆実際に小中学校でそのような取り組みをするのは、もう少し先になると思うが、社会教育事業で「参画」という部分に踏み込んだ事業ができればと思っているので、社会教育委員の皆様からの意見やアイデアをいただきたいと思っている。 《新たに社会教育委員に就任した人もいたことから順に自己紹介を行う》			
3. 委嘱状の交付（机上配付）			
4. 議事 （1）議長・副議長の選出 [教育長：仮議長] 議長・副議長について、規則で「委員の互選」となっていますが、いかがですか。《委員から事務局一任の声》			

【事務局提案】

- ◆議長については、胆振管内社会教育委員連絡協議会会長及び北海道社会教育委員連絡協議会理事及び9月に札幌市で開催される全国大会の実行委員に就任することになるので、平日の昼間に出席していただく会議が4～5回ある。
- ◆団体推薦で社会教育委員とされている方は、団体の役員改選で委員を降りられる可能性がある。
- ◆以上を踏まえると、議長は小林委員、副議長は引き続き森委員にお願いしたい。
《委員から異議なしの声があり、出席委員全員の拍手で承認》
《新議長、新副議長より就任挨拶、教育長は所用により退席》

(2) 報告第1号 平成29年度教育行政執行方針について

〔議長〕 それでは、報告第1号平成29年度教育行政執行方針について説明をお願いします。

〔事務局〕 《会議資料を事前配付していたことから、概要について説明》

〔議長〕 質問等をお願いします。

〔委員〕 昔と今とでは学校教育もだいぶ変わってきていると思うが、指導主事を教育委員会事務局に配置とあったが詳しく教えてほしい。

〔事務局〕 指導主事とは、北海道教育委員会より派遣され給与は伊達市が負担している職員で、教育委員会事務局に校長職の方1名と教頭職の方1名の計2名が配置されている。実際に学校教育現場で働いていた方なので学校教育に関しても非常に詳しく、学校からの様々な相談等に対しても的確に対応できる。教育委員会はあまり現場には詳しくないので、教育現場で働いていた教員の方に来ていただくことで、学校との関係も緊密になる。また、指導主事は道教委とのつながりも強いので、情報収集ほか伊達市と道教委との連携も強くなるという利点がある。

〔委員〕 指導主事は頻繁に学校に出入りしているのか。

〔事務局〕 頻繁ということではなく、学校で困っていることあった場合に、必要があれば指導主事が学校を訪問し、相談にのったり問題解決の方策や保護者対応を考えたりする。2名の指導主事は長く学校現場を経験されている方なので、学校から教育委員会へ教育に関する専門的な事項についての相談があった場合、その対応策を考え、また学校を指導する等、学校と教育委員会との仲立ちをするような立場であり、教育委員会と学校との風通しを良くするという役割が大きい。

〔委員〕 以前は年2回位、学校全体の指導を教育委員会がしていたと思うが。

〔事務局〕 それは今でも行っています。

〔委員〕 北海道教育委員会から派遣されているということですか。

〔教育部長〕 身分的には伊達市の職員として、各学校で発生する個別案件に対応してもらっている。

(3) 報告第2号 平成29年度社会教育事業計画について

〔議長〕 それでは、報告第1号平成29年度教育行政執行方針について説明をお願いします。

〔事務局〕 《会議資料を事前配付していたことから、概要について担当者より概要説明》

〔議長〕 社会教育係、文化財係、青少年・体育係、図書館と担当者から説明がありましたが、質問はありませんか。《質問なし》

5. その他

〔事務局〕 9月に札幌市で開催される全国大会への委員の参加動員について説明。

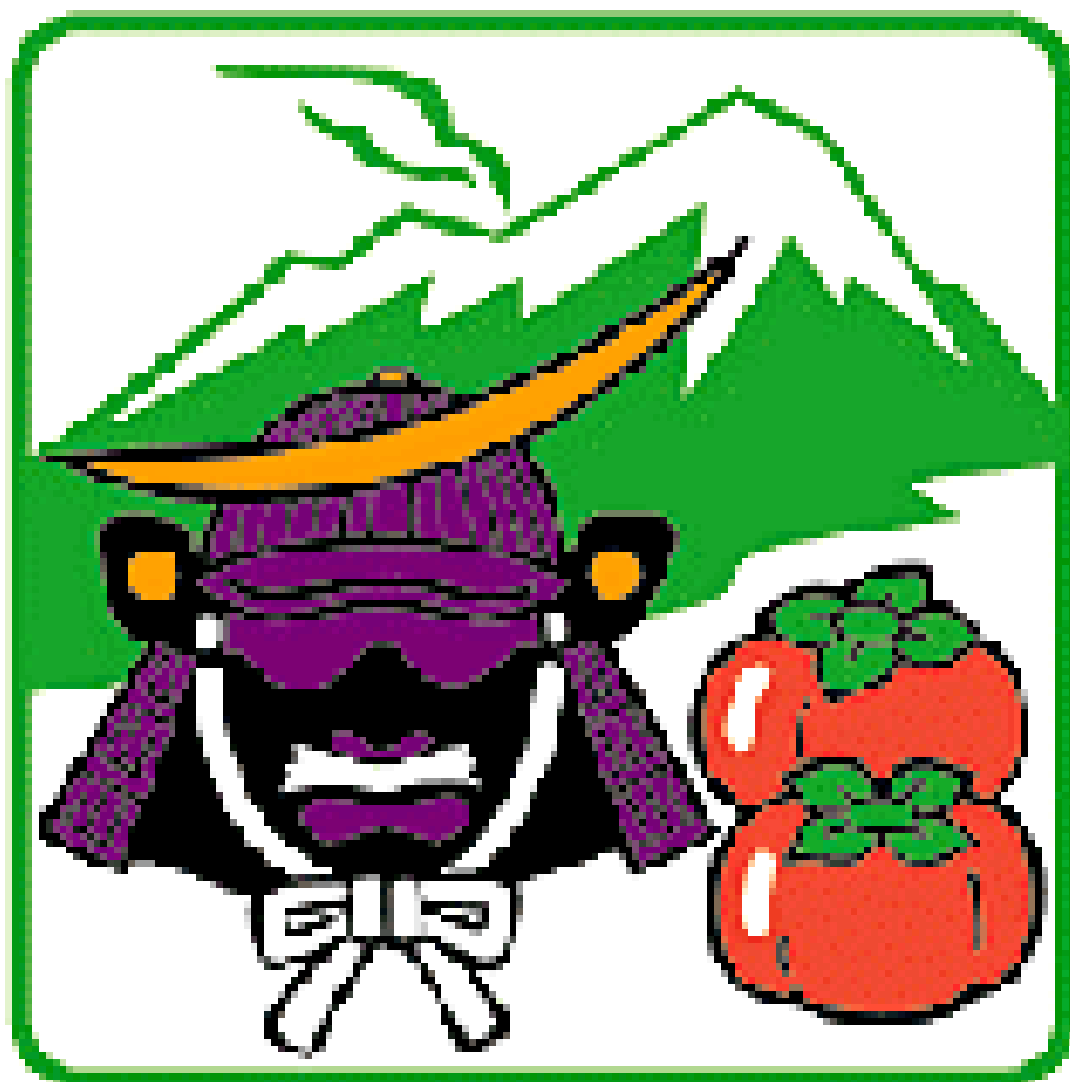
- ◆動員人数は5名で、新議長は2泊3日で参加、他の4名はこの場で決定したい。
- ◆大会参加費は伊達市が実行委員会に事前に振り込み、旅費及び委員報酬は伊達市の規定に基づき参加者本人に支給する。
《議長以下、参加者5名が決定》

6. 閉会

平成29年度
第1回伊達市社会教育委員会議

日時 平成29年 5月16日(火) 午後6時30分～

会場 伊達市役所第2庁舎 2階 会議室1



伊達市教育委員会

会 議 次 第

1. 開 会 伊達市教育委員会 生涯学習課長 山 根 一 志

2. 開会あいさつ 伊達市教育委員会 教育長 影 山 吉 則

3. 委嘱状の交付 机上交付といたします。

4. 議事

(1) 議長・副議長の選出

議 長		副議長	
-----	--	-----	--

(2) 報告第1号 平成29年度教育行政執行方針について

(3) 報告第2号 平成29年度社会教育事業計画について

5. そ の 他

6. 閉 会

【参加者名簿】

〔社会教育委員〕

氏 名	就任年月日	備 考
青 木 一 也	平成28年 6月 1日	伊達市PTA連合会 会長
伊 藤 成 子	平成19年 5月 1日	つどいサークル「ドロップ」代表
笠 井 由喜子	平成27年 5月 1日	元不登校対策訪問アドバイザー
吉 瀬 献 策	平成28年 5月 1日	北海道伊達緑丘高等学校 校長
小 谷 洋 史	平成19年 5月 1日	伊達 favoriteCLUB 顧問
小 林 浩 路	平成27年 5月 1日	元教育部指導室指導員
佐 藤 誠	平成28年 6月 1日	伊達市文化協会 事務局長
成 田 浩 司	平成28年 5月 1日	伊達小学校 校長
森 美 洋	平成17年 5月 1日	元伊達市地域子ども会育成連絡協議会 会長
渡 邊 ひとみ	平成27年 5月 1日	伊達市スポーツ推進委員 副会長
(新)北 越 政 則	平成29年 5月 1日	元青少年指導センター指導員
(新)早 坂 真	平成29年 5月 1日	伊達青年会議所 理事長

〔伊達市教育委員会〕

所 属	氏 名
教育長	
教育部長	
生涯学習課長	
図書館長	
社会教育係長	
社会教育係主査	
文化財係長	
青少年・体育係長	

平成 2 9 年 度

教 育 行 政 執 行 方 針

伊 達 市 教 育 委 員 会

目 次

I	はじめに	1
II	推進項目	2～12
	1 学校教育	2～8
	2 社会教育	8～9
	3 芸術文化	10～12
	4 スポーツ振興	12
III	むすび	13

I はじめに

平成29年第1回伊達市議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

我が国は、今後、急激な人口減少と少子高齢化社会を迎えることから、地方創生を成し遂げるため、多くの課題に一体的に取り組むとともに、国民一人ひとりが主体的に社会を創り出していくことが求められています。

このような変化が激しく、先の見通せない社会において、本市を持続的に発展させていくためには、地域が人を育み、人が地域を創る自立・協働・創造の社会の実現を目指して、自らが伊達市の将来を創り出していくという主体性を持ったひとづくり、郷土の歴史や文化を誇りに思い、生涯にわたり生きがいを持って活躍できる学びづくりが重要です。

伊達市教育委員会は、次期「伊達市教育振興基本計画」の策定に向けた検討を平成29年度から着手し、この中で小中学校の適正な規模の考え方を整理するとともに、多様に変化していく教育環境や諸課題に対応すべく、市長が主宰する総合教育会議において十分協議を行うなど、市と教育委員会、学校、家庭、地域や関係機関・団体等との連携を強化して教育行政を推進してまいります。

Ⅱ 推進項目

次に、平成29年度の推進項目と主要な施策について申し上げます。

1 学校教育

第一は、学校教育についてであります。

社会で生きる実践的な力の育成

厳しい社会を生き抜くために、子どもたち一人ひとりが自ら学び考え、課題を発見し、その課題を他者と連携・協働しながら解決できる能力を育むことが求められています。

その根幹となる確かな学力の向上を目指して、「全国学力・学習状況調査」や「伊達市学力テスト」の結果を分析し、具体的な改善策を立て、それをもとに指導方法等の工夫改善を行い、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とそれを活用できる力を育ててまいります。

また、主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業改善や家庭での学習時間の増加に向けた指導方法等の工夫を促進してまいります。

さらに、指導主事を教育委員会事務局に配置することにより、教育課程、学習指導、生徒指導、教材研究をはじめとした学校教育の技術的専門的事項に関する指導の充実を図ってまいります。

特別支援教育につきましては、障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向け、伊達高等養護学校や関係機関と連携を図るとともに、就学時における幼稚園や保育所等の異校種間での引継ぎを効果的に行うなど、継続した支援を行ってまいります。

また、個々の障がいに対応できるよう、教職員の資質・能力の向上に向けた研修を行ってまいります。

さらに、小中学校に特別支援教育支援員や介護員を適切に配置し、児童生徒個々の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を行ってまいります。

情報モラル教育につきましては、高度情報化が急速に進展するなか子どもたちがインターネットを適切に活用する知識や能力を習得するとともに、ネットトラブルの被害者や加害者とならないよう、未然防止を主眼とした、情報モラルを身に付けさせる指導や取組の充実を関係機関と連携しながら図ってまいります。

また、情報教育設備の整備につきましては、学校の児童生徒用、教師用パーソナルコンピュータを計画的に更新してまいります。

キャリア教育につきましては、子どもたちが夢や希望を持って将来を設計し、自己の進路や生き方の選択ができるよう、発達段階に応じて必要となる能力の育成に努めてまいります。

また、子どもたちに地域づくりの担い手として、自らがふるさとを創造しようという当事者意識の啓発を図るため、地域の現状と課題を分析し、将来像を描く学習活動を教育課程に位置付けることを検討するとともに、社会参画のための力を育む教育を推進してまいります。

国際理解教育につきましては、伊達地区の外国語指導助手及び大滝区の国際交流職員の小中学校への派遣を継続するとともに、次期学習指導要領に対応する小学校の英語教育に向けた小中学校の教職員の連携による指導力向上のための教職員研修に努めてまいります。

また、グローバルな人材の育成に向け、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るための授業改善を目指してまいります。

学校間の連携・接続につきましては、子どもたち一人ひとりのもつ良さや可能性を見い出し育み、生涯にわたる学習の基礎を培うため、私立幼稚園や保育所の幼児と小学校の児童との交流活動や小中学校間や道立学校との連携を図ってまいります。

また、著しく児童生徒が減少している大滝区の小中学校においては、他の小中学校との統合による適正規模の維持が困難なことから、実質的な小中一貫教育を視野に入れて検討してまいります。

豊かな心と健やかな体の育成

道徳教育につきましては、命を大切にし、他を思いやる心、ふるさとを愛する心等の規範意識や道徳的価値観を育むことは重要であり、平成30年度以降の道徳の教科化に向け、いじめの未然防止の観点を含め、問題解決的学習や体験的な学習等を取り入れるなど、多面的・多角的にとらえ議論する道徳教育の充実・改善を図ってまいります。

いじめへの対応につきましては、「子どもたちを、いじめの加害者・被害者・傍観者にしない。いじめは許されない。」の観点から、いじめの未然防止に向けた子どもたちの取組を推進するとともに、教育相談やアンケート調査、北海道教育委員会と学校によるネットパトロール等を通じて子どもたちの状況等を把握し、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めてまいります。

また、「伊達市いじめ防止基本方針」に基づき、市、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関等との連携を強化し、いじめ問題への総合的かつ適切な対応を図ってまいります。さらに、人間関係の構築等に効果があるワークショップを実施し、子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図ってまいります。

生徒指導につきましては、学校が一体となって対応することが基

本であり、その上で、教職員が子どもたちとコミュニケーションを深め、信頼関係を築くことにより、豊かな成長を育むための教育相談の充実を図るとともに、指導力の向上を図る取組を促進してまいります。

不登校対策につきましては、学校における早期の実態把握やその対応と連携して、不登校対策訪問アドバイザーや不登校児童生徒サポートハウス「こどもの国フェニックス」を活用した支援に取り組んでまいります。

食育・健康教育につきましては、引き続き望ましい食に関する知識や食習慣の習得のため、日常的な給食指導や保健指導及び栄養教諭未配置校に対する栄養教諭の派遣事業を実施してまいります。

学校給食につきましては、地場産品を活用した給食の提供に努めるとともに、平成30年1月に供用開始となる「だて歴史の杜食育センター」において最新の衛生管理の仕組みを導入し、より安全・安心な給食運営に努めてまいります。また、当センターにおいては、特別目的会社が自主事業を実施することから、庁内関係課との効果的な調整を行うことで、市民の健康増進等に資する取組を充実させてまいります。

子どもたちの体力向上につきましては、「全国体力・運動能力調査」や「伊達市体力テスト」の結果を踏まえ、体力向上プランを作成し、保健体育を中心とした教科指導の充実はもとより、家庭や関係機関と連携するなどして、日常的な運動習慣の定着に向け軽スポーツ等の導入を検討してまいります。

手話言語につきましては、「伊達市やさしい心がかよいあう手話言語条例」が施行されることから、子どもたちが手話に接する機会を

ふやすとともに、手話に対する理解を深めるなど条例の趣旨に沿った取組を進めてまいります。

がん教育の充実につきましては、がんに関する理解を深めるため、食生活はもとより生活習慣が健康に及ぼす影響や予防等について、保健体育の授業、保健師による「出前授業」も活用し、取組を進めてまいります。

フッ化物洗口につきましては、引き続きすべての小中学校において実施し、歯と口腔の健康づくりを推進してまいります。

信頼される学校づくりの推進

コミュニティ・スクールにつきましては、平成29年度にすべての小中学校で導入することとなり、学校運営協議会において学校の経営方針や教育実践等について協議するとともに、地域住民や保護者が学校運営に参画し、学校が地域と一体となって子どもたちを育み、地域総がかりの教育と学校を拠点とした地域づくりを推進してまいります。

また、学校運営協議会委員の資質・能力の向上のための研修会を実施してまいります。

教職員の資質・能力の向上につきましては、不断の研修の充実はもとより、北海道教育委員会等が行う研修事業への参加促進を図るとともに、「伊達市教育実践交流・研修会」等を開催することにより、子どもたちのために市内の教職員が一体となって、授業力の向上や指導体制の充実に向けて取り組んでまいります。

また、市内の小中学校と道立学校の連携を進め、教職員相互の授業参観や研修を促進するなどして、市内のすべての学校の教育力向上を図り、地域から信頼され期待される学校づくりを推進してまい

ります。

教職員の服務規律の保持につきましては、教職員は子どもたちの人格形成に大きな影響を与える立場であり、学校教育は子どもたちや保護者はもとより地域住民との信頼関係のうえに成り立っているものであることの教職員の自覚を促し、教育のプロとしての高い倫理観の育成のため、校内研修等の改善・充実を図ってまいります。

安全・安心な教育環境づくりの推進

学校施設につきましては、老朽化が進む校舎や設備の改修工事を実施するなど、安全・安心な教育環境の確保のため、引き続き施設の修繕や維持管理に努めてまいります。

伊達市立学校の適正配置につきましては、急激に進む少子化や次期学習指導要領により学校を取り巻く環境が大きく変化することを見据え、子どもたちがこれからの社会を生き抜く力を身に付けることができるよう、望ましい学校規模について検討を進めてまいります。

家庭や地域の教育力向上につきましては、広報紙等を活用した啓発活動や情報提供を関係機関・団体等と連携を図り取り組んでまいります。

また、地域の力を借りながら、子どもたちに安全・安心な居場所を提供し、学習やスポーツ・文化活動等を通じて基礎学力と学習意欲の向上を図り、地域社会の中で心豊かに健やかに育ち、なおかつ人間力向上に繋がるような取組として、「放課後子ども教室事業」を進めてまいります。

学校の安全対策につきましては、学校敷地内や通学路における子

どもたちの安全確保を図るため、市内小学校を対象にスクールガードリーダーによる巡回指導を行うほか、伊達市通学路安全推進会議における「通学路交通安全プログラム」の見直しを継続してまいります。

防災教育につきましては、有珠山の噴火や津波等の自然災害に備えた学校の危機管理マニュアルの改善・充実を図るとともに、実践的な防災訓練や防災に関する教育活動を推進してまいります。

2 社会教育

第二は、社会教育についてであります。

ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進

少子高齢化や高度情報化が急速に進む中、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しています。次の時代を生き抜く子どもたちには、時代の変化に順応するたくましさの高い社会参画意識を兼ね備えた、心身共に健全で伊達市の将来を担えるひととして成長できるよう、青少年団体やボランティア団体等と連携を図り、異年齢間の交流の機会や体験学習の場の創出等、青少年教育の充実を図ってまいります。

また、この地域のリーダーとして活躍できる人材育成のため、「姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会」等への参加を促進するとともに、青少年団体の自主的活動の支援と育成に努めてまいります。さらに、模範となる行いを顕彰し青少年の誇りと自信を高め、豊かな心と実践力の育成に努めてまいります。

主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進

生涯にわたり生きがいを持って活躍できるよう、様々な世代がいつでも気軽に学べる機会を提供するとともに、自主的な活動やコミュニティの形成に繋がるよう、「市民講座」や「だて市民カレッジ」等の各種講座の内容の充実を図るなど、学習環境の整備に努めてまいります。

また、高齢者が健康で心豊かな生活を送ることができるよう「長生大学」への参加を促進するとともに、学習内容の工夫・改善や学習外活動の活性化に努めてまいります。

図書館につきましては、引き続き、基本図書の実充を図り市民の生涯学習活動を支援するとともに、市民にとって身近な図書館を目指すため、「読み聞かせボランティア」活動の支援をするほか、図書館業務に参加するボランティア及び子どもたちの読書活動に関わるボランティアが活躍できる場を提供してまいります。

さらに、「伊達市子どもの読書活動推進計画」に基づき、地域社会全体で子どもたちの読書活動の実充を図るとともに、幼児期の親子関係を育む絵本の読み聞かせやブックスタート事業、市民の高度化する学習要求に対応したレファレンスサービス、学校や地域での読書機会を拡充する巡回図書事業や地域文庫事業を推進してまいります。

また、図書館運営協力会からの図書館運営に関する提言や、図書館あり方検討委員会からの図書館の今後のあり方に関する提言を基に、図書館機能の実充を図ってまいります。

女性リーダー育成につきましては、胆振管内教育委員会連絡協議会の「胆振女性リーダー養成研修」に参加者を継続して派遣するとともに、男女共同参画社会の意識醸成を図る講演会等の啓発事業を推進してまいります。

3 芸術文化

第三は、芸術文化についてであります。

個性あふれ、潤いのある地域文化の創造

NPO法人伊達メセナ協会等の関係団体と連携し、市民に質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、小中学生には創造性や感性を育むため、巡回小劇場事業を継続してまいります。

また、伝統芸能、郷土芸能や地域文化活動団体の普及や伝承・後継者育成のために、自主的な文化活動を支援するとともに、発表の場の提供、学校との連携、SNS等を利用した情報発信等に努めてまいります。

芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

アートビレッジ事業につきましては、昨年度に引き続き、NPO法人噴火湾アートビレッジに「絵画教室」や「伊達音楽アカデミー」等の事業運営を委託し、長期的な視野に立った人材育成に努めてまいります。

また、寄託や寄贈を受けました美術作品等につきましては、アートビレッジ文化館において公開を継続しながら、平成30年度開館予定の「だて歴史文化ミュージアム」での展示機会に備えて美術作品等の分類や整理を進めてまいります。

「宮尾登美子文学記念館」につきましては、ボランティアによる宮尾作品の「朗読会」を定期的を開催するなどして、文学に親しむ機会の提供に努めてまいります。

歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

本市には、太古の昔から現代まで語り継がなければならない特色ある歴史や文化があります。縄文からアイヌ、武家文化まで、市民だれもがこの郷土の歴史や文化を理解し、誇りに思えるようなまちづくりを進めてまいります。

「だて歴史文化ミュージアム」につきましては、平成30年度開館に向けて、組織体制の検討をはじめ、展示内容や体験学習教材について調査研究を進め、貴重な文化財を保存するとともに、縄文文化からアイヌ文化、亶理伊達家の移住に至る郷土の歴史や文化等について、系統性のある学びが提供できる施設とすることを目指してまいります。

噴火湾文化につきましては、引き続き、大学、調査研究機関や研究者の協力のもと、郷土の歴史や文化に関する調査研究を進めてまいります。

また、有珠地区にある17世紀のアイヌ民族の遺跡の発掘と市内に残る近世文書の調査を継続するとともに、「噴火湾文化研究所」内を改修して、出土品を整理・保管・展示・活用する施設としてまいります。

さらに、市内の発掘調査で出土した古人骨を当研究所内で丁寧に保管し、慰霊を行うため、公益社団法人伊達アイヌ協会との共催により、「カムイノミ・イチャルパ祭」を実施いたします。これにより古人骨に対する敬意を表すとともに、アイヌの伝統文化の保護に努めてまいります。

世界遺産推薦候補である「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の一資産となっている国指定史跡の「北黄金貝塚」につきましては、関係機関等と連携し、特別展や講演会、フォーラムを開催す

るなど、世界遺産登録に向けた市民の意識啓発や周知広報活動に努めてまいります。

4 スポーツ振興

第四は、スポーツ振興についてであります。

スポーツ・レクリエーション活動の振興

温水プールとトレーニング室を含めた総合体育館を拠点として、体力や年齢、健康志向に応じた生涯スポーツに向けた取組を拡充するため、指定管理者をはじめスポーツ推進委員や関係団体と連携し、年間を通してニュー・スポーツの講習会や大会、スポーツ教室の開催等、活動環境の充実に努め、市民の健康づくりを推進してまいります。

また、総合体育館をはじめとした体育施設の効果的・効率的な活用を図り、健康・体力づくりの増進に向けた環境整備に努めてまいります。

Ⅲ むすび

以上、平成29年度の教育行政執行にあたっての方針と推進項目及び主要な施策について申し上げます。

伊達市教育委員会といたしましては、本市の将来を担う子どもたちが、郷土に誇りをもって未来に向かってたくましく成長していくことができるよう、学校、家庭、地域はもとより、関係機関、関係団体等との連携を図りながら、本市教育のより一層の充実・発展に全力で取り組むとともに、生涯を通して豊かに学ぶことのできる生涯学習社会の実現を目指してまいります。

市議会議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成29年度 社会教育事業計画

P. 1	社会教育委員関係事業
P. 2～3	社会教育事業
P. 4	芸術文化事業
P. 5	アートビレッジ事業
P. 6	文化財事業
P. 7	青少年事業
P. 8	体育事業
P. 9	図書館事業

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

生涯学習課社会教育係

事業名 【社会教育委員関係事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
第1回 伊達市社会教育委員会議 (伊達市役所第2庁舎)	◎委嘱状の交付 ◎議長、副議長の選出 ◎平成29年度事業計画報告	H29.05.16	(全委員)	
第2回 伊達市社会教育委員会議 (伊達市役所第2庁舎)	◎事業進捗状況報告 ◎次年度事業計画策定に向けた 意見交換	H29.09.下	(全委員)	
第3回 伊達市社会教育委員会議 (伊達市役所第2庁舎)	◎平成20年度事業計画報告	H30.02.下	(全委員)	
北海道社会教育委員連絡協 議会第1回理事会及び総会 (札幌市：かでの2・7)	◎平成28年度事業報告・決算 ◎平成29年度事業計画・予算	H29.04.20	小林委員 職員：齋藤	公用車出張 (終了)
北海道社会教育委員連絡協 議会第2回理事会 (札幌市：かでの2・7)	内容未定 ※議長→胆社連協会長→道社連 協理事	H29.06.未	議長 市職員	公用車出張
北海道社会教育委員連絡協 議会第3回理事会 (札幌市：かでの2・7)	内容未定 ※議長→胆社連協会長→道社連 協理事	H30.02.未	議長 市職員	公用車出張
胆振管内社会教育委員連絡 協議会役員会・総会 (カルチャーセンター)	◎平成28年度事業報告・決算 ◎平成29年度事業計画・予算 ◎永年勤続表彰 ※議長→胆社連協会長 副議長→胆社連協理事	H29.05.17	議長 副議長	
第59回全国社会教育研究 大会北海道大会(札幌コン ベンションセンター)	社会教育委員の4割の動員要請 により5名が参加。伊達社教委 議長は大会の実行委員でもある ことから初日から参加。他の4 名は2日目から参加。	H29.09.11 ~H29.09.13	11~13(2泊) 議長1名 職員1名 =2名 12~13(2泊) 委員4名 職員1名 =5名	公用車出張
第59回全国社会教育研究 大会北海道大会実行委員会 (札幌市：かでの2・7)	上記大会の実行委員会です不定期	(未定)	議長 市職員	公用車出張
第37回北海道市町村社会 教育委員長等研修会	第59回全国社会教育研究大会 と兼ねて開催することとし、独 自開催は行わない。	—	—	—
第57回北海道社会教育研 究大会	(同上)	—	—	—

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

生涯学習課社会教育係

事業名 【社会教育事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
市民講座〔第1講座〕 (カルチャーセンター)	「春からの野菜づくりビギナー講座」(全2回)	H29.04.18 H29.04.21	12	実施済
市民講座〔第2講座〕 (カルチャーセンター)	「伊勢物語～平安貴族の世界に ふれる～第貳の巻」(全5回)	H29.05.18 H29.05.25 H29.06.01 H29.06.08 H29.06.15	15	
市民講座〔第3講座〕 (カルチャーセンター)	「亜麻をつむぐ～亜麻色の繊維 の魅力～」(全3回)	H29.06.13 H29.06.20 H29.06.27	10	
市民講座〔第4講座〕 (カルチャーセンター)	「書にふれ書を楽しむ」 (全4回)	H29.09.07 H29.09.14 H29.09.21 H29.09.28	15	
市民講座〔第5講座〕 (カルチャーセンター)	「初めてのエンディングノート～住 み慣れた地域で暮らすために～」 (全2回)	H29.10.18 H29.10.25	20	
市民講座〔第6講座〕 (カルチャーセンター)	「おいしいコーヒーを淹れてみ ませんか？」(全4回)	H29.10.23 H29.10.30 H29.11.06 H29.11.13	15	
市民講座〔第7講座〕 (カルチャーセンター)	「クリスマス／お正月飾り」 (全1回)	H29.11.未	30	
市民講座〔第8講座〕 (カルチャーセンター)	「スワロフスキー・天然石を使った アクセサリー・雑貨講座」(全4 回)	H29.12.未	15	
だて市民カレッジ〔第1講座〕 (カルチャーセンター)	「楽しみのある生き方」 講師：作曲家 木村 雅信 氏	H29.06.03	60	別紙参照
だて市民カレッジ〔第2講座〕 (市バスによる見学研修)	「胆振の魅力を再発見～白老とアイ ヌの歴史～」	H29.07.21	30	
だて市民カレッジ〔第3講座〕 (カルチャーセンター)	「伊達の生産現場から見た国際交渉 について」講師：伊達市農業協同組 合代表理事組合長 佐藤 哲 氏	H29.08.20	60	
だて市民カレッジ〔第4講座〕 (カルチャーセンター)	「教員生活と知里幸恵銀のしずく記 念館」講師：知里幸恵銀のしずく記 念館 館長 金崎 重彌 氏	H29.09.03	60	
だて市民カレッジ〔第5講座〕 (カルチャーセンター)	「諦めない心～金メダルまでの道のり ～」講師：アスリート 藤澤 舞 氏	H29.09.30	60	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

生涯学習課社会教育係

事業名 【社会教育事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
胆振女性リーダー養成研修 (埼玉県比企郡嵐山町：国立女性教育会館)	男女共同参画推進フォーラムに 市民3名を派遣	H29.08.25 ～H29.08.27	3	2泊又 は3泊
男女共同参画社会づくり講演 会(カルチャーセンター)	演題：(未定) 講師：鶴羽佳子氏 元北海道放送アナウンサー 現北海道教育委員会委員 ※視聴覚室で開催予定	H29.09.24	100	
女性プラザ祭 (札幌市：かでの2・7)	参加市民を募集し、札幌市で開 催される女性プラザ祭に参加	H29.11.未	30	市バス
男女共同参画パネル展 (カルチャーセンター)	カルチャーセンターロビーにて パネル展を開催	H30.03.上	—	1週間程度
伊達市長生大学	◎伊達長生大学 活動拠点：カルチャーセンター ◎有珠長生大学 活動拠点：有珠白鳥館 ◎年間21日の学習日 〔午前：講演、午後：実技〕 ◎学習日の他に、修学旅行、見学旅 行、運動会、学芸発表会、ボラン ティア活動等を行っている。	通年	伊達 247 有珠 15	
放課後子ども教室 (伊達西小学校)	◎事業目的 ①放課後における安全安心な居 場所の提供 ②地域住民等が参画した学習機 会の提供 ③心豊かで健やかに育まれる環 境作り ◎平成29年度から西小学校で 開設するが、将来的には全小学 校で開設を予定 ◎低中高学年毎に開設 →各年間20日程度 ◎全学年での合同教室 →月1回程度	H29.06.07 開設 ～H29.03.31	西小学校 児童数 352	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

生涯学習課社会教育係

事業名 【社会教育事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
巡回小劇場 (カルチャーセンター)	市内全小中学校の児童・生徒を 対象とした舞台芸術鑑賞事業。 ◎小学校低学年(ミュージカル) 「ピノッキオの冒険」 ◎小学校高学年(児童劇) 「子象物語(小学校Ver)」 ◎中学生(児童劇) 「子象物語(中学校Ver)」	H29. 07. 11 (AM) H29. 07. 12 (AM) H29. 07. 12 (PM)	930 930 950	引率教諭 含む
市民サークルまつり (カルチャーセンター)	市内サークル団体 14 団体が参 加する作品展示会	H29. 09. 01 ～H29. 09. 03	(来場見込) 800	
市民総合文化祭 (カルチャーセンター)	市内文化団体 37 団体が参加する総 合文化祭	H29. 10. 上 ～H29. 11. 下	(来場見込) 8,000	
西いぶり定住自立圏文化事 業(室蘭市文化センター)	西胆振6市町による文化事業で、開 催は3市輪番。 〔内容〕札幌コンサート	H29. 10. 22	—	
第42回小さな朗読会(宮尾 登美子文学記念館)	宮尾登美子文学作品の朗読会 ※内容未定	H29. 07. 未 (土曜午後)	(来場見込) 50	
第43回小さな朗読会(宮尾 登美子文学記念館)	宮尾登美子文学作品の朗読会 ※内容未定	H29. 08. 未 (土曜午後)	(来場見込) 50	
第44回小さな朗読会(宮尾 登美子文学記念館)	宮尾登美子文学作品の朗読会 ※内容未定	H29. 10. 未 (土曜午後)	(来場見込) 50	
第45回小さな朗読会(宮尾 登美子文学記念館)	宮尾作品の朗読会で今年最終回 は市内音楽家(団体)とのコラボ でミニコンサートを開催。※内 容未定。	H29. 11. 未 (土曜午後)	(来場見込) 50	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

生涯学習課社会教育係

事業名 【社会教育事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
絵画教室「野田・永山塾」 (アートビレッジ文化館)	芸術監督野田弘志画伯、永山優子氏による小、中、高校生、大人を対象とした絵画指導を通年で実施	通年	40	
リアリズム絵画セミナー (アートビレッジ文化館)	芸術監督野田弘志画伯、永山優子氏、外部より講師を招聘しリアリズム絵画を志す人を対象とした絵画指導を通年で実施	通年	15	
伊達音楽アカデミー (カルチャーセンター)	ピアニスト岩崎淑氏を講師に迎えピアノ独奏、他の楽器とのアンサンブルに磨きをかけようとする方を指導、レッスンを一般公開する	H29. 8. 26 ～H29. 8. 27	6	
ミュージック・イン・スタ イル岩崎淑シリーズvol. 40 (カルチャーセンター)	伊達音楽アカデミーで講師を務めているピアニスト岩崎淑氏とチェロ岩崎洸氏(淑氏の弟)・ヴァイオリン岩崎潤氏(淑氏の甥)によるコンサート	H29. 11. 29	500	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

生涯学習課文化財係

事業名 【文化財事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
考古学カフェ2017 (札幌駅前通り地下歩行空間)	北海道縄文のまち連絡会の主催で道内各地の遺跡を紹介するイベントを札幌市で開催する。	H29.05.20	10,000	
七夕まつり (迎賓館)	市有形文化財の迎賓館を活用し、七夕イベントを行う。	H29.08.05 ～H29.08.06	100	
動物考古学セミナー (噴火湾文化研究所)	動物標本を用いて貝塚から出土した魚や動物の種類を鑑定する。	H29.08.23 ～H29.8.25	20	
だて噴火湾縄文まつり (史跡北黄金貝塚公園)	縄文文化を学び、楽しむイベントとして実施	H29.08.26 ～H29.08.27	1,000	
文化財防火デー (善光寺・三戸部家住宅)	重要文化財を火災から守るための消防訓練	H29.11.02	50	
ひな祭り (伊達市開拓記念館)	雛人形を鑑賞する無料開放日	H30.03.03	200	
スタートアップ講演会① (カルチャーセンター)	文化館建設の周知のための博物館講座(講師:久留島浩 国立歴史民俗博物館館長)	H29.07.09	200	
スタートアップ講演会② (カルチャーセンター)	文化館建設の周知のための博物館講座(講師:未定)	H30.03.未	200	
緑丘高校縄文学習 (緑丘高・史跡北黄金貝塚公園)	緑丘高校の敷地内の遺跡や市内の遺跡について学習する。	H29.10.未	160	
科研費事業成果報告会 (苫小牧市)	北海道博物館との共催によるカムイタプコプ下遺跡の発掘調査の成果報告会	H30.03.未	—	
学術連携講演会(東北大学 東北アジア研究センター)	東北大学と連携した講演会 (H29年度は仙台市で開催)	(未定)	—	
カムイノミ・イチャルパ祭 (噴火湾文化研究所)	噴火湾文化研究所内で保管している古人骨への慰霊のためにアイヌ文化の伝統儀式を行う。※調整中	(未定)	—	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係 生涯学習課青少年・体育係

事業名 【青少年事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
第1回 だてっ子 遊び・学 びの教室「ダンボール彫刻 にチャレンジ」 (カルチャーセンター)	ダンボール箱をつかった工作教室 協力：つどいサークル「ドロップ」他	H29.06.24	30	対象： 小学生
第2回 だてっ子 遊び・学 びの教室「お茶とお話しを 楽しもう」 (カルチャーセンター)	童謡等のお話しの後、茶道体験 協力：つどいサークル「ドロップ」 伊達高等学校茶道部 他	H29.07.下	30	対象： 小学生
第3回 だてっ子 遊び・学 びの教室「伊達の歴史を学 ぶ遺跡発掘」 (未定)	※内容については文化財係と調整中 協力：つどいサークル「ドロップ」 文化財係(学芸員)	H29.09.中	30	対象： 小学生
第4回 だてっ子 遊び・学 びの教室「秋の夜の星空観 察」 (関内小学校)	星にまつわる話と反射望遠鏡による天体 観測 協力：つどいサークル「ドロップ」他	H29.11.上	30	対象： 小学生
第5回 だてっ子 遊び学 びの教室「クリスマスの飾り 作り」 (旭町児童館)	クリスマスツリーの小物飾りやリース作 り 協力：つどいサークル「ドロップ」他	H29.12.中	30	対象： 小学生
第6回 だてっ子 遊び学 びの教室「小さな音楽会」 (なないろ児童館)	ロビーコンサート 協力：つどいサークル「ドロップ」他	H30.02.中	30	対象： 小学生
親子体験教室「親子クッキ ング」 (保健センター)	親子での体験事業	H29.11.下	(12組) 24	対象： 小学生と 保護者
あそびましておめでとう (みらい館)	昔遊びやニュースポーツを楽しみ、お雑 煮を食べる。	H30.01.下	30	対象： 小学生
姉妹・歴史友好都市シニア リーダー研修交流会 (福島県新地町)	姉妹・友好都市である、亘理町・山元 町・柴田町・新地町・伊達市の中高生 シニアリーダーが一堂に会し研修・交 流する。	H29.08.02	5	対象： 中高生
成人式 (カルチャーセンター)	市民憲章朗読、成人の誓い、ビデオレ ター、バンドコンサートなど。	H30.01.07	300	対象： 新成人
青少年教育事業 (会場未定)	ジュニア美術セミナーに替わり開催する 新規事業(内容未定)	(未定)	(未定)	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係 生涯学習課青少年・体育係

事業名 【体育事業関係】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備 考
第30回春一番伊達ハーフマラソン大会 (メイン会場：だて歴史の杜公園)	ハーフ、10km、5km、3km、車いす、小学生駅伝	H29.04.16	3,989	実施済
おおたき国際スキーマラソン (大滝総合運動公園)	15km、7km、5km、3km	H30.02.未	600	
おおたき国際ノルディックウォーキング (大滝総合運動公園)	12km、6km、3km	H29.07.02	400	

平成29年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係

図書館業務係

事業名 【図書館事業】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は 予定人数	備考
子ども読書まつり (図書館)	子ども一日司書、子ども向け展示他	H29.04.22 ～H29.05.14	期間計 3,000	
伊東文庫・堀内文庫巡回 事業 (市内全小学校)	伊東氏、堀内氏からの寄贈児童書を各校(10校)に3週間程度巡回	H29.06.16 ～H30.03.23	—	
七夕飾りづくり (図書館)	長さ4mの笹を設置し、子ども達が期間中書いた短冊を飾る。	H29.07.01 ～H29.08.08	期間計 130	
夏休み子ども工作教室 (図書館)	小学校低学年向けの工作教室を実施	H29.07.28	20	
だて図書館まつり (図書館)	講演会、大人向けお話し会、読書クイズ、おすすめ本展示他	H29.10.20 ～H29.11.05	期間計 2,500	
小中学生読書感想文・感想 画表彰式(図書館)	小学生の部入賞者の表彰及び代表3名による発表	H30.02.17	応募 192 表彰式 100	
おはなし会 (図書館)	小学校低学年向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施	毎月第1 土曜日	延べ 120	
絵本の読み聞かせ会 (図書館)	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施	毎月第2.4 水曜日	延べ 530	
子ども映画会 (図書館)	子ども向け映画会の上映	毎月第2,4,5 土曜日	延べ 450	
地域文庫配本 (各地域文庫5箇所)	各地域文庫へ半年毎に250冊を配本し、配架する。	各文庫 年2回入替	—	
ブックスタート (保健センター)	保健センターで実施する乳幼児栄養相談の際、絵本の読み聞かせや絵本の手渡しを実施。対象は1歳児。	毎月1回 乳幼児栄養 相談日	延べ 223	
ブックスタート・ステップ (図書館)	絵本の読み聞かせや絵本の手渡しを実施。対象は2歳児。	5日間の 1クールを 年3回 7,10,2月	延べ 156	